

高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第32週（8月8日～8月14日）

蚊やマダニに刺咬されないように注意しましょう！

屋外では長袖・長ズボンを着用するなど
肌の露出をできるだけ少なくしましょう。



★お知らせ

☆夏型感染症（ヘルパンギーナ・咽頭結膜熱（プール熱）・手足口病）に気を付けて！

ヘルパンギーナ・咽頭結膜熱・手足口病は夏期を中心に流行するウイルス性の感染症です。

県内全域ではヘルパンギーナ・手足口病は減少していますが、咽頭結膜熱は急増し、中央西で警報値を超えています。また、ヘルパンギーナも安芸、幡多では増加し注意報値を超えるなど、引き続き注意が必要です。

これらの夏型感染症は主にウイルスが含まれた咳やくしゃみを吸いこんだり、手を介して口に触れたりすることで感染します。幼稚園、保育園、学校等の集団生活では手洗い、うがい等の予防対策に加えて、タオル・コップ等の共用を避ける等して、感染予防に努めてください。これらの感染症はほとんどの場合、予後は良好です。しかし、まれにですが重症化し、重篤な症状を呈することもありますので、早めに医療機関を受診してください。

○咽頭結膜熱（プール熱）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第31週の0.33から第32週は0.90と急増しています。中央西、高知市、中央東で増加し、中央西では警報値を超えています。

咽頭結膜熱は、発熱・咽頭炎・結膜炎を3主症状とし、その他、リンパ節の腫れ、腹痛、下痢などが生じることもあります。

流行時期は夏期で、プールでの感染があることから「プール熱」とも呼ばれます。

感染力は非常に強く、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染、あるいは、ウイルスが付着した手やタオルなどの患者が触れたものを介して感染します。プールでは眼の結膜からの感染も考えられています。予防対策は手洗い、うがいを励行しましょう。プールを利用する際は、前後のシャワーを必ず浴び、タオルを他人と共用しないようにし、流水と石けんによる手洗い、うがいをしましょう。

○ヘルパンギーナに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第31週の1.60から第32週は1.00と減少していますが、安芸、幡多で増加し、安芸と幡多では注意報値を超えています。

ヘルパンギーナは、3～6日の潜伏期間の後、突然の高熱に続く咽頭痛が出現するウイルスによる感染症です。発熱時に熱性けいれんを起こすことがあります。咽頭粘膜は赤くなり、特にのどの奥に小さな水ぶくれ・潰瘍を形成します。水ぶくれが破れた際の痛み等から、食事や水分を十分にとれないために脱水症状になることもあります。脱水予防のため、こまめな水分補給を心がけてください。

この疾病に対する有効な抗ウイルス薬はないため、治療は高熱や、喉の痛み等への対症療法となります。その後2～4日で解熱し、7日程度で治ります。合併症としては、熱に伴う熱性けいれんとまれに髄膜炎や心筋炎が生じることがありますが、ほとんどの場合、予後は良好です。

ワクチン等の特別な予防法はありませんが、感染を防ぐためには患者との濃厚接触を避け、手洗い、うがい、咳エチケットなどの一般的な予防法の励行が有効です。

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

第32週も基幹定点からの9例に加えて、定点医療機関からのホット情報では14例マイコプラズマ感染症の報告がある等、報告数の多い状態が続いていることから、引き続き注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによって起こる呼吸器感染症で、幼児期から学童期によく見られます。感染経路は主に飛まつ感染や接触感染です。保育園や幼稚園、学校、あるいは家庭内等での濃厚な接触で感染します。患者の感染力は発症から10日前後（症状持続の例でも6週間程度）で消失しますが、この間は濃厚な接触は避けるようにしましょう。

予防対策は手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

☆マダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）はマダニが媒介する感染症です。すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。予防するためのワクチン等はありません。

野山や畑、草むらなどに出かけるときは、次のことに注意しましょう。

- ▲肌を出さないよう、長袖、長ズボン、長靴、帽子、手袋等を着用しましょう。
- ▲マダニ用の忌避剤を使用しましょう。
- ▲草の上に直接座ったり、寝転んだりしない。敷物を利用しましょう。
- ▲脱いだ上着やタオルは、不用意に地面や草の上に置かないようにしましょう。
- ▲帰宅後は、すぐに入浴してマダニに咬まれていないか確認し、新しい服に着替えましょう。
- ▲野外から帰った犬や猫はダニが付着している可能性があるため、よく見てあげましょう。
- ▲吸血中のマダニを見つけたら、無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診し処置してもらいましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症







<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

- 高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

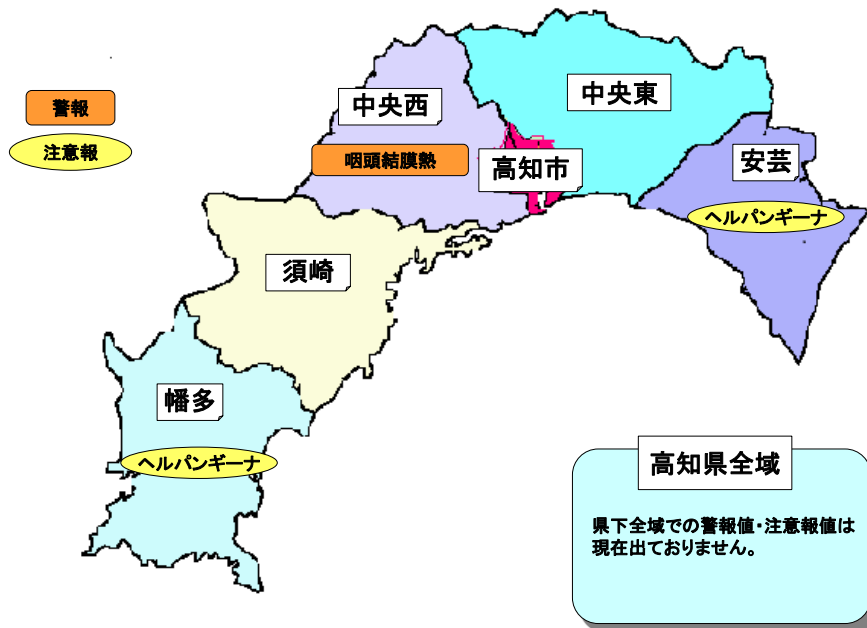
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ：急増 ：増加 ：横ばい ：減少 ：急減
32週（8月8日～8月14日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		2. 3 3	幡多、高知市で増加しています。
ヘルパンギーナ		1. 0 0	安芸、幡多で増加し、安芸と幡多では注意報値を超えています。
咽頭結膜熱		0. 9 0	中央西、高知市、中央東で増加し、中央西では警報値を超えています。
水痘		0. 5 0	高知市、中央東で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0. 4 3	安芸、中央西で増加しています。
流行性耳下腺炎		0. 4 3	安芸、中央東で増加しています。

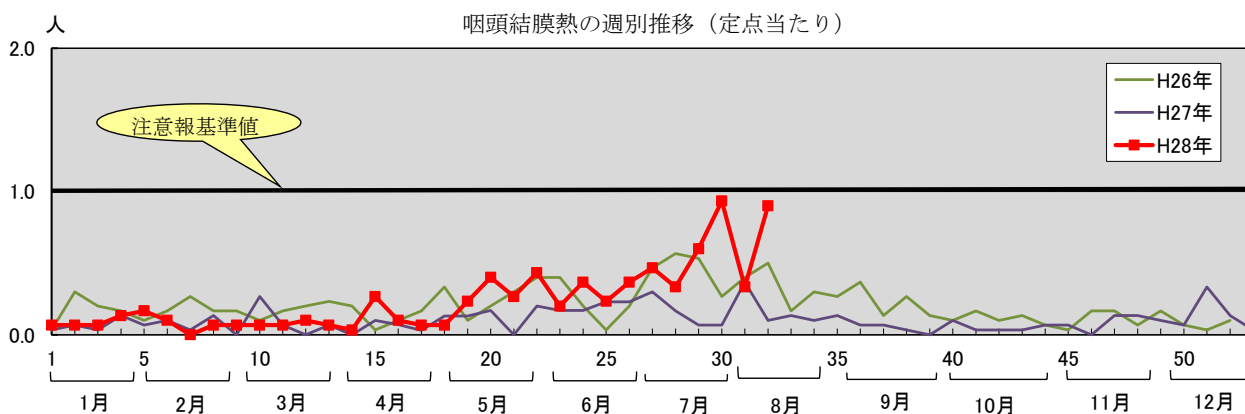
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

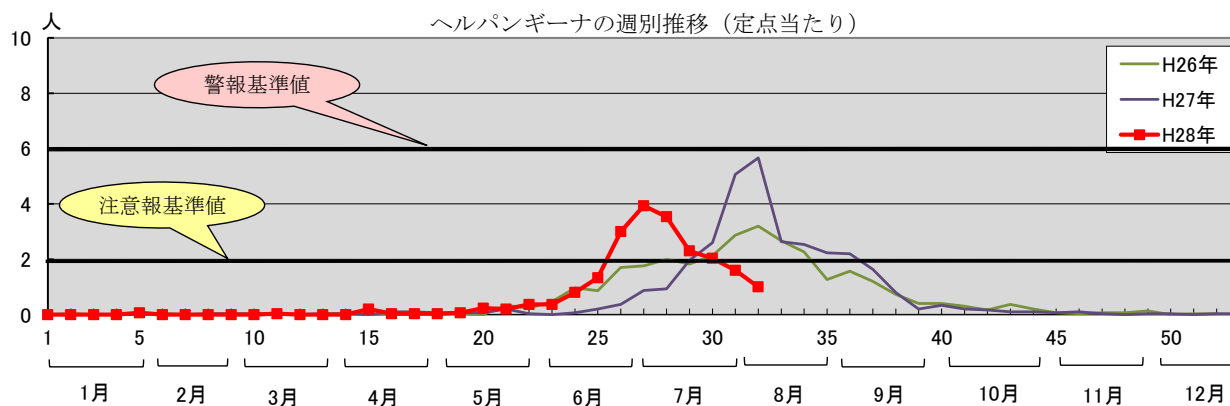
○咽頭結膜熱 第32週： 0.90 （注意報値：1.00 警報値：3.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.90（前週：0.33）と急増しています。中央西 5.33（前週：0.33）、高知市 0.82（前週：0.36）、中央東 0.14（前週：0.00）で増加し、中央西では警報値を超えています。



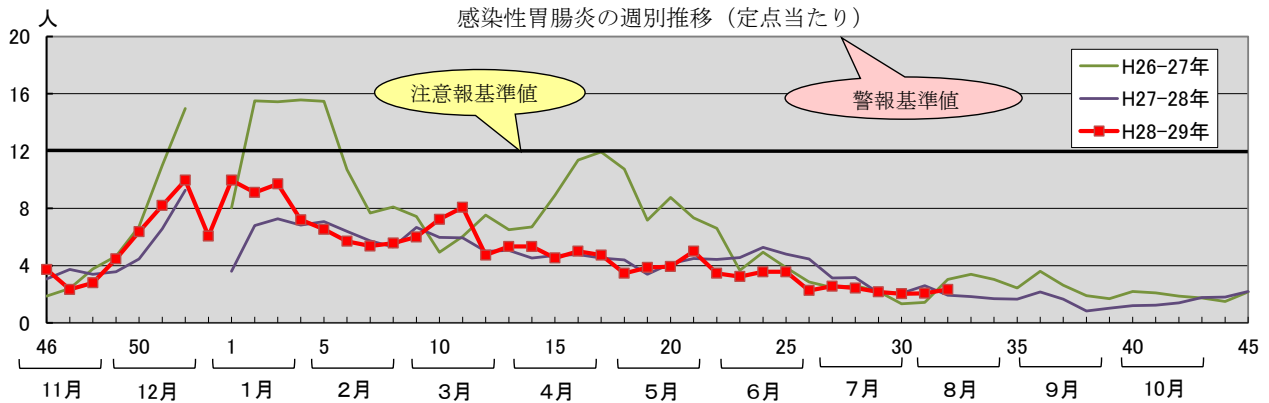
○ヘルパンギーナ 第32週： 1.00 （注意報値：2.00 警報値：6.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.00（前週：1.60）と減少していますが、安芸 2.50（前週：0.50）、幡多 2.20（前週：2.00）で増加し、安芸と幡多では注意報値を超えています。



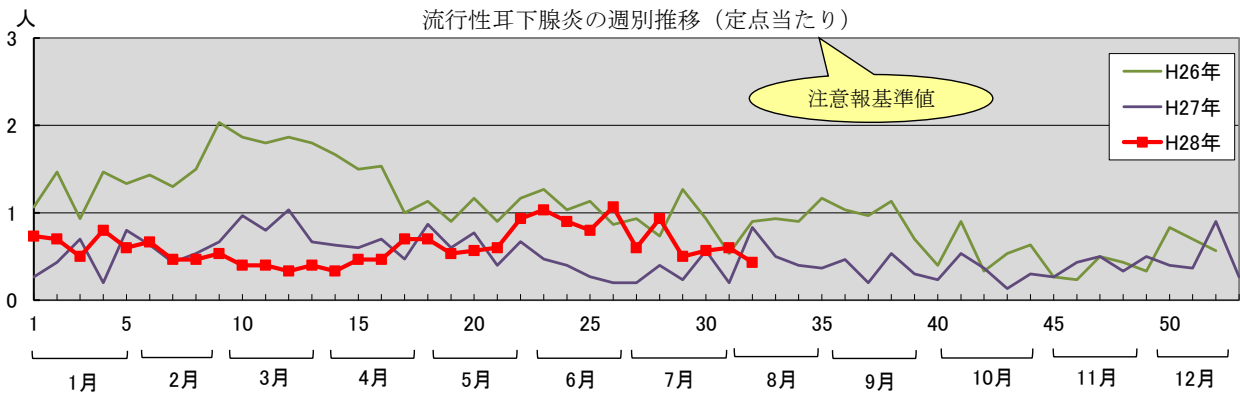
○**感染性胃腸炎 第32週： 2.33** (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.33 (前週：2.07) とほぼ横ばいですが、幡多 5.00 (前週：1.60)、高知市 3.09 (前週：2.45) で増加しています。



○**流行性耳下腺炎 第32週： 0.43** (注意報値：3.00 警報値：6.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.43 (前週：0.60) と減少していますが、安芸 0.50 (前週：0.00)、中央東 0.43 (前週：0.14) で増加しています。



★**病原体検出情報**

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
29	感染性胃腸炎	2ヶ月	男	高知市	Echovirus 6
29	RSウイルス感染症様下気道炎	7ヶ月	男	中央東	Rhinovirus
30	感染性胃腸炎	11ヶ月	男	中央東	Echovirus 6
30	流行性筋痛症(Bornholm病)疑い	5	女	中央東	Echovirus 6
30	感染性胃腸炎	2	男	須崎	Echovirus 6
30	感染性胃腸炎	4	男	須崎	Echovirus 6

★**全数把握感染症**

第32週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	76	5~9歳代女	中央西
		1	77	5~9歳代女	中央西
		1	78	80歳代女	安芸
		1	79	80歳代女	幡多
		1	80	80歳代女	中央東
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	13	70歳代男	高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	あけぼのクリニック	マイコプラズマ感染症3例（7歳、9歳、10歳：内2人核酸同定陽性）
	野市中央病院小児科	带状疱疹1例（11歳女）
	いちほら内科小児科	カンピロバクター1例（5歳女）
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ8例（3歳男、5歳男、6歳男、7歳女、10歳男女、12歳女2人）
		アデノウイルス感染症3例（3歳男女、4歳男）
	細木病院小児科	ノロウイルス2例（4ヶ月男、4歳男）
		サルモネラ1例（6歳女）
		カンピロバクター1例（13歳女）
	福井小児科・内科・循環器科	伝染性紅斑2例（5歳男、7歳女）
溶連菌感染症3例		
高知医療センター小児科	カンピロバクター1例（8歳女）	
	ヒトメタニューモウイルス感染症1例（9ヶ月男）	
	病原性大腸菌5例（0ヶ月男2人、0ヶ月女、2ヶ月女、3ヶ月男）	
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎1例（5歳男：津野町）
		ヘルパンギーナ1例（1歳女：須崎市）
	日高クリニック	ヘルペス性歯肉口内炎1例（13歳女）
幡多	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎2例（67歳女、9歳女）
	さたけ小児科	マイコプラズマ1例（9歳女）

■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成28年2月15日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。

診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

●国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント

2016年8月10日更新

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

●厚生労働省検疫所 海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/index.html>

●外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●国立国際医療研究センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016年8月2日更新

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-ジカウイルス感染症/>

●ジカウイルス感染症 定義（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-44.html>

●ジカウイルス感染症 発生届様式（PDF）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

●ジカウイルス感染症について（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

●政府広報オンライン 何が危ない？ どう防ぐ？ ジカウイルス感染症（ジカ熱） 予防のポイント

<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201605/2.html>

●オリンピック・パラリンピックでブラジルへ渡航される方へ

<http://www.forth.go.jp/news/2016/02051708.html>

★全国情報

第30号（7月25日～7月31日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核376例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症123例

4類感染症：E型肝炎2例、A型肝炎2例、重症熱性血小板減少症候群3例、チクングニア熱1例、
つつが虫病1例、デング熱6例、日本紅斑熱3例、マラリア2例、ライム病1例、
レジオネラ症41例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢13例、ウイルス性肝炎3例、
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症11例、急性脳炎7例、
クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症10例、
後天性免疫不全症候群19例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、
侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症18例、水痘（入院例に限る）2例、
梅毒67例、播種性クリプトコックス症2例、破傷風2例、
バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、麻しん3例、
薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

報告遅れ：E型肝炎4例、デング熱1例、日本紅斑熱2例、マラリア2例、レジオネラ症9例、
レプトスピラ症1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症18例、急性脳炎6例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、水痘（入院例に限る）1例、梅毒56例、
バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん2例、麻しん2例

.....

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第32週 平成28年8月8日(月)～平成28年8月14日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第32週							計	前週	全国(31週)	高知県(32週末累計)		全国(31週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H28/1/4～H28/8/14				H28/1/4～H28/8/7		
インフルエンザ	インフルエンザ								()	()	80 (0.02)	14,926 (310.96)	1,582,883 (320.03)		
小児科	咽頭結膜熱			1	9	16			1	27 (0.90)	10 (0.33)	1,309 (0.42)	229 (7.63)	44,642 (14.14)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	1	6	3			1	13 (0.43)	20 (0.67)	4,821 (1.53)	1,839 (61.30)	254,057 (80.45)	
	感染性胃腸炎		2	7	34	2			25	70 (2.33)	62 (2.07)	11,310 (3.59)	4,682 (156.07)	577,196 (182.77)	
	水痘			1	14					15 (0.50)	5 (0.17)	875 (0.28)	231 (7.70)	39,486 (12.50)	
	手足口病			1	5	1				7 (0.23)	8 (0.27)	2,373 (0.75)	232 (7.73)	19,762 (6.26)	
	伝染性紅斑		1	1	5					7 (0.23)	6 (0.20)	769 (0.24)	227 (7.57)	43,038 (13.63)	
	突発性発疹			3	6				3	12 (0.40)	9 (0.30)	1,558 (0.49)	320 (10.67)	46,773 (14.81)	
	百日咳									()	()	73 (0.02)	68 (2.27)	1,817 (0.58)	
	ヘルパンギーナ		5	4	7	3			11	30 (1.00)	48 (1.60)	11,421 (3.62)	635 (21.17)	78,171 (24.75)	
	流行性耳下腺炎		1	3	3	3			3	13 (0.43)	18 (0.60)	3,682 (1.17)	592 (19.73)	91,812 (29.07)	
RSウイルス感染症				8					8 (0.27)	6 (0.20)	1,082 (0.34)	605 (20.17)	27,852 (8.82)		
眼科	急性出血性結膜炎									()	()	6 (0.01)	()	253 (0.37)	
	流行性角結膜炎									()	()	559 (0.81)	11 (3.67)	14,502 (20.99)	
基幹	細菌性髄膜炎									()	2 (0.25)	14 (0.03)	6 (0.75)	287 (0.61)	
	無菌性髄膜炎				1					1 (0.13)	()	35 (0.07)	26 (3.25)	750 (1.58)	
	マイコプラズマ肺炎				7				2	9 (1.13)	6 (0.75)	438 (0.93)	163 (20.38)	8,669 (18.29)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									()	()	5 (0.01)	26 (3.25)	219 (0.46)	
	感染性胃腸炎									()	1 (0.13)	7 (0.01)	233 (29.13)	4,999 (10.55)	
計(小児科定点当たり人数)		11 (5.50)	22 (3.13)	105 (8.82)	28 (9.33)	()	()	46 (8.80)	212 (6.72)		40,417	25,051 (632.97)	2,837,168		
前週(小児科定点当たり人数)		6 (3.00)	39 (5.29)	88 (7.61)	28 (9.33)	2 (1.00)	()	38 (7.00)		200 (6.41)					

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第32週							計	前週	全国(31週)	高知県(32週末累計)		全国(31週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H28/1/4～H28/8/14				H28/1/4～H28/8/7		
インフルエンザ	インフルエンザ										0.02	310.96	320.03		
小児科	咽頭結膜熱			0.14	0.82	5.33			0.20	0.90	0.33	0.42	7.63	14.14	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	0.14	0.55	1.00			0.20	0.43	0.67	1.53	61.30	80.45	
	感染性胃腸炎		1.00	1.00	3.09	0.67			5.00	2.33	2.07	3.59	156.07	182.77	
	水痘			0.14	1.27					0.50	0.17	0.28	7.70	12.50	
	手足口病			0.14	0.45	0.33				0.23	0.27	0.75	7.73	6.26	
	伝染性紅斑		0.50	0.14	0.45					0.23	0.20	0.24	7.57	13.63	
	突発性発疹			0.43	0.55				0.60	0.40	0.30	0.49	10.67	14.81	
	百日咳											0.02	2.27	0.58	
	ヘルパンギーナ		2.50	0.57	0.64	1.00			2.20	1.00	1.60	3.62	21.17	24.75	
	流行性耳下腺炎		0.50	0.43	0.27	1.00			0.60	0.43	0.60	1.17	19.73	29.07	
RSウイルス感染症				0.73					0.27	0.20	0.34	20.17	8.82		
眼科	急性出血性結膜炎										0.01		0.37		
	流行性角結膜炎										0.81	3.67	20.99		
基幹	細菌性髄膜炎									0.25	0.03	0.75	0.61		
	無菌性髄膜炎				0.20				0.13		0.07	3.25	1.58		
	マイコプラズマ肺炎				1.40			2.00	1.13	0.75	0.93	20.38	18.29		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.01	3.25	0.46		
	感染性胃腸炎									0.13	0.01	29.13	10.55		
計(小児科定点当たり人数)		5.50	3.13	8.82	9.33	()	()	8.80	6.72		632.97				
前週(小児科定点当たり人数)		3.00	5.29	7.61	9.33	1.00	()	7.00		6.41					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869